

# 会報 こぶし

北陸電波学校  
北陸電波専門学校  
北陸電波高等学校  
金沢工業大学附属高等学校  
金沢工業高等専門学校  
金沢工業大学

VOL.  
**61**  
2018.1

金沢工大学園 60 周年記念特集

## 同窓会の歩み

歴史を礎にさらなる躍進を



保二会：北陸電波高等学校応援団

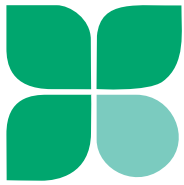
第 17 回こぶし祭

全国から卒業生が集結

エントランスをリニューアル!

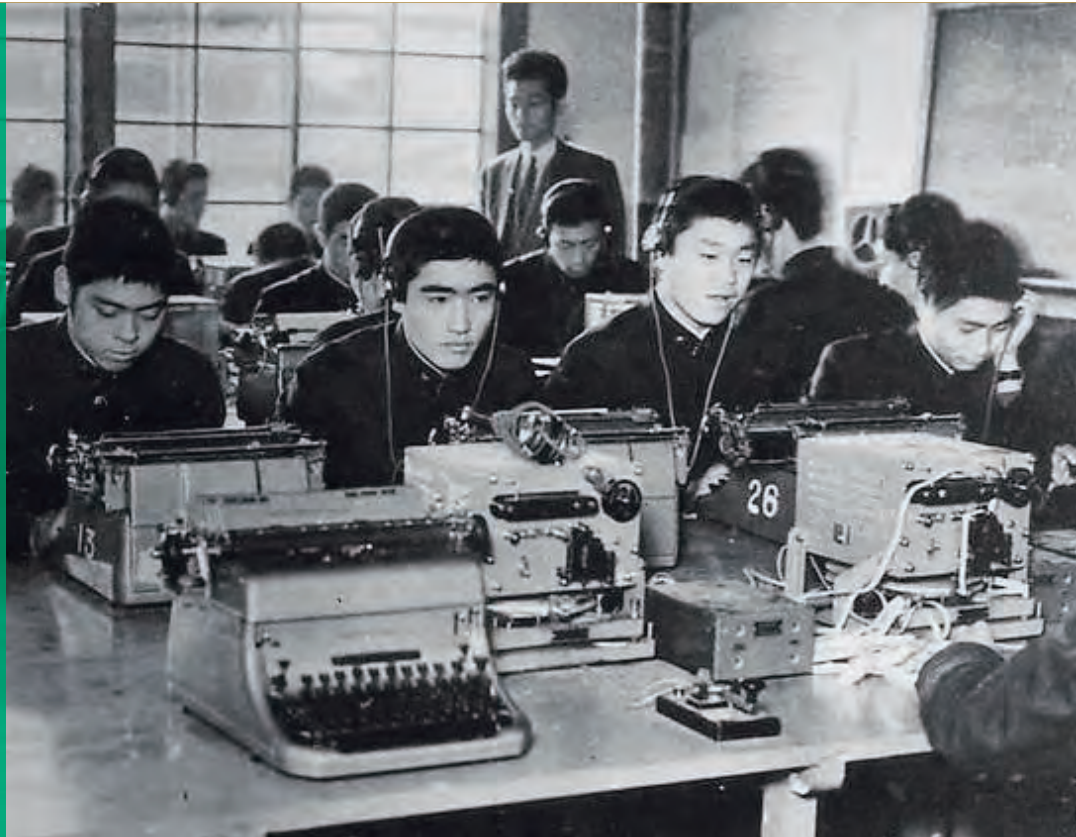
気軽に立ち寄れる同窓会に





金沢工大学園の歩みは、昭和32年に開学した北陸電波学校から始まりました。それから60年。学園は、平成30年に国際高等専門学校に生まれ変わる金沢工業高等専門学校、全国有数の理工系総合大学に進化した金沢工業大学を擁し、ますます発展を遂げています。これから3回にわたって学園の軌跡を同窓会の歴史とともにたどります。第1回は保二会です。

## 第1回 保二会



▲小立野校舎時代の通信実習

# 最先端の技術を学ぶ学生が集う



▲北陸電波高等学校校舎

北陸電波学校の創立から金沢工業大学附属高等学校の閉校まで、16年の間に2,228名の学生が学び舎を巣立ち、金沢工大学園の現在を支える礎となりました。その卒業生が所属している同窓会が保二会です。今回、その成り立ちと学生時代の思い出を紹介します。

昭和32年6月1日、金沢市小坂町に北陸電波学校が開校しました。当時、テレビやラジオ、電話など情報通信分野は最先端の産業で、優秀な技術者の育成が急務でした。北陸電波学校には学生から社会人までが集まり、最新の技術を学ぼうとする熱気にあふれていたそうです。

昭和33年4月には北陸電波学校を北陸電波専門学校に改称しました。さらに昭和34年4月に所在地を金沢市小坂町から金沢市上野本町（現・小立野3丁目）に移転し、北陸電波高等学校を開校しました。そして、昭和40年4月、金沢工業大学の開学に伴い、

北陸電波高等学校は金沢工業大学附属高等学校に改称し、昭和48年3月に最後の卒業を送り出すまで、優れた人材を輩出しました。

保二会は、北陸電波学校、北陸電波専門学校、北陸電波高等学校、金沢工業大学附属高等学校の卒業生が所属する金沢工大学園に最初にできた同窓会組織です。学園創設者で初代理事長を務めた嵯峨保二氏の名前を取ったのが名称の由来となっており、その歴史は、北陸電波学校の創立から金沢工業大学附属高等学校の閉校までの16年間に凝縮されています。



▲電波高校旗



## 各校舎の思い出 ①

# 鳴和校舎

### 昭和 32 - 33 年



▲北陸電波学校開校式・入学式 (昭和 32 年)



▲北陸電波専門学校入学記念撮影 (昭和 33 年)



▲実験機器



▲平尾先生の講義 (昭和 32 年)



▲通信の実習

## 各校舎の思い出 ②

# 小立野校舎

### 昭和 34 - 38 年



▲北陸電波専門学校職員一同 (昭和 36 年)



▲印字機タイプライター室



▲小立野校舎時代の無線実習



▲高周波実験室



▲崎浦小学校旧校舎を利用した北陸電波専門学校校舎 (昭和 35 年)

## 当時を振り返って

### 興味を持つことの 大切さ知る

北陸電波学校専門部  
**手塚 泰夫** さん  
(32年)



バス製造会社で塗装を担当していた21歳のとき、情報通信という新しい分野を勉強したいと思って夜間部に入学しました。テレビの同期回路の原理をはじめ、モーターを一から作成するなど、覚えることは多かったですが、学ぶことが楽しかったですね。

意見や質問が飛び交うなど、授業はいつも活発だったと思います。そのように熱気あふれた学校での学びは、敗戦から10年以上が経ち、世の中が大きく変わっていくのを感じるには十分でした。学校で興味を持つことの大切さを知り、それが私の人生の支えとなったことは確かです。

### 人生を生き抜く 知恵を学ぶ

北陸電波専門学校専門部  
**小屋 忠男** さん  
(35年)



当時の校舎は倉庫を改装した教室が2部屋あっただけでした。でも、最先端の通信技術が学べるとあって、社会人から学生までが集い、とにかく勉強に没頭していました。休み時間になると、教室の机をたたいてモルス信号の練習に励んでいたことが思い出されますね。

学ぶことに対して厳しい学校でしたが、大学のように大らかで自由な雰囲気もありました。そして、いろんな価値観の仲間と交流する中で、自分の殻を破っていったと感じます。あの2年間は、人生を生きていくための知恵を授かったのだと思います。

### 思い受け止めてくれた 恩師に感謝

北陸電波高等学校  
**水野 四郎** さん  
(39年)



実家の時計店を継ぐため、電気や通信技術を学ぼうと入学しました。当時は小立野に校舎があり、朝、仲間とソフトボールをするのを楽しみに、急ぎ足で登校したものです。恩師である藤島秀隆先生は学生の思いに真正面から向き合い、受け止めてくれる人で、いろんなことを安心して相談できましたね。

一番の思い出は、卓球部での活動です。厳しかった先輩は、今ではよき友人として交流が続いています。社会に出た後、たくさんの困難を乗り越えられたのは、あの頃に培った忍耐力のおかげですね。

# 野々市校舎以降

昭和38 - 48年

かけがえのない  
友人が財産に

金沢工業大学附属高等学校  
宮崎 義也 さん  
(44年)



野々市小学校の元校舎で2年間を過ごした後、金沢工業高等専門学校と金沢工業大学の学生と一緒に学びました。特に大学生は大人びていて、憧れの存在だったことを覚えています。

先見の明を持った先生が多く、私たち学生の視野を広げてくれましたね。現代にも通じる知識が多いので驚きます。そして、親身になって相談に乗ってくれた先生に感謝しています。

男子校でしたので絆が強く、何かしようとするとうん結力がありません。今でも仲間とは交流していて、かけがえのない友人ができたのが財産です。



▲金沢工業大学附属高等学校最後の卒業式



▲金沢工業大学附属高等学校入学式



▲応援団のメンバー



▲野々市校舎



▲授業の様子

## 高校相撲金沢大会

学生の憧れの的だったのが応援団で、年に一度の「高校相撲金沢大会」は晴れ舞台でした。団長と団員の威勢の良いかけ声に合わせて、学生たちが一糸乱れぬ声援を繰り広げていきました。



昭和32年                      昭和35年    昭和40年    昭和45年    昭和50年

### 北陸電波学校

通信科・テレビ科・通信科別科

- 昭和32年6月1日開校  
校長代理 青山兵吉就任
- 昭和32年12月25日  
第1回卒業式
- 昭和33年3月31日閉校

### 北陸電波専門学校

高等部：通信科・通信技術科  
専門部：通信科

- 昭和33年4月1日開校  
校長 青山兵吉就任
- 昭和34年1月5日  
北陸電波専門学校を「小立野校舎」に移転
- 昭和38年3月31日閉校

### 北陸電波高等学校

通信科・通信技術科・電気工学科・電子工学科・専攻科

- 昭和34年4月1日開校  
初代校長 青山兵吉就任
- 昭和39年4月1日  
2代校長 室橋隆三就任

### 金沢工業大学附属高等学校

普通科・通信科・通信技術科・電気工学科・専攻科

- 昭和40年4月1日校名変更
- 昭和42年4月1日  
「野々市校舎」から「扇が丘キャンパス」に移転
- 昭和48年3月31日閉校



青山兵吉



室橋隆三

## 保二会を結成

- 昭和42年8月19日  
保二会第1回総会開催

会長：小屋忠男  
副会長：長谷俊一郎  
神亮一

### 金沢工業高等専門学校

- 昭和37年4月1日開校  
初代校長 青山兵吉就任
- 昭和40年12月4日  
2代校長 竹村重武就任
- 昭和53年6月1日  
3代校長 新名健吉就任
- 昭和61年4月1日  
4代校長 佐久間亘就任

### 金沢工業大学

- 昭和40年4月1日開学  
初代学長 青山兵吉就任
- 昭和48年6月1日  
2代学長 京藤睦重就任
- 昭和59年6月1日  
3代学長 木羽敏泰就任



# 学園はいつまでも「母校」

保二会 竹蔦 茂孝 会長

今から60年前、北陸電波学校が開校し、金沢工科大学園の歴史が始まりました。私たち保二会会員は、学園の礎となった北陸電波学校、北陸電波専門学校、北陸電波高等学校、金沢工業大学附属高等学校で学んだことを誇りに思います。

学園は今、大きな転換期を迎えているのだと理解しています。平成30年に白山麓キャンパスを開校、4月には国際高等専門学校が始動し、グローバルイノベーターを目指す15歳からの新しい高等教育システムに期待がかかります。

また、近年は扇が丘キャンパスにおいて、福

利厚生棟の21号館、チームラーニングの拠点である23号館、学生イノベーターを育てる12号館、そして新夢考房が完成するなど施設面も充実していく姿を目にし、卒業生として母校の発展に心強さも感じています。

金沢工業大学附属高等学校の閉校により、私たちが学んだ学校の歴史はいったん幕を閉じました。しかし、私たちは学園を母校と思い、学園とのつながりを一層、深めていきたいと考えています。60周年という節目に際し、すべての卒業生の心が一つになり、学園が盛り上がるきっかけとなることを願っています。



## 北陸電波学校、北陸電波専門学校、北陸電波高等学校の校歌

- 一、 医王山の朝あけに  
若人つどう幾千人  
次元の真理もとめむ  
いらか輝くまなびやは  
電波電波わが母校
- 二、 七つの洋の彼方より  
世界の声が潮にのる  
扉開きてあたらしき  
科学の園にわけいらむ  
電波電波わが使命
- 三、 宇宙は遠く限りなし  
月の便りももらすなく  
地球に結ぶさきがけを  
はげみ進まむ青春の  
電波電波わがちから

## 金沢工業大学附属高等学校の校歌

- 一、 風よさやかに かおれ青空  
しるがねのドームかがやく学園  
工大われら 無限の希望  
光 あれよ この丘
- 二、 旗よ高く ひびけ高殿  
団結の力あふるる学園  
工大われら たゆまぬ闘志  
誇りあれよ この丘
- 三、 眉をあげて 呼べ若者  
民族のこころはくむ学園  
工大われら 世界のしるべ  
栄えあれよ この丘

## 金沢工科大学園の設置学校の変遷

### ● 保二会会報

昭和42年12月1日に発行された保二会会報の創刊号。学園創立10周年記念式典に併せて開催された総会の様子や会報誌に寄せる期待、学園発展の様子などを掲載しています。



● 平成7年4月1日  
5代校長 堀岡雅清就任

● 平成18年4月1日  
6代校長 山田弘文就任

● 平成26年4月1日  
7代校長 ルイス・パークステール就任

● 昭和63年6月1日  
4代学長 佐藤豪就任

● 平成6年6月1日  
5代学長 石川憲一就任

● 平成28年4月1日  
6代学長 大澤敏就任

## 懐かしい旧友と賑やかに

同窓のつどい



▲同窓のつどいに参加した皆さん

「同窓のつどい」は平成 29 年 9 月 2 日、会員 75 人、恩師 3 人が出席して金沢市のテルメ金沢で開かれ、懐かしい仲間や恩師との久しぶりの再会を喜び合いました。

保二会では、昭和 32 年の北陸電波学校開校から昭和 48 年の金沢工業大学附属高校閉校までの 16 年間で学んだ保二会の会員を対象に「同窓のつどい」を実施しており、今回で 3 年ぶり 3 回目の開催となりました。

最初に竹嶋茂孝会長(40年)が「久しぶりに会う会員の方も多と思います。限られた時間の中で、恩師や旧友とともにゆっくり語りましょう」と挨拶しました。こぶし会の松田真一会長、早川義造副会長、殿村和也副会長も出席し、松田会長が「保二会のような結束力、団結力のある組織に、こぶし会を育てていきたい」と述べました。

この日は、藤島秀隆先生、奥田堅



▲校歌に合わせて校旗をふりました

三先生、佐藤守先生も駆け付け、代表して藤島先生が近況を話された後、乾杯の音頭を取り、懇親会がスタートしました。参加者たちは、学生時代に戻ったかのように恩師や旧友と語り、大いに盛り上がりました。

最後に、参加者全員で校歌を熱唱し、野村太慶司さん(37年)が中締め、中橋勝美さん(41年)が閉会の挨拶を行い、参加者全員が別れを惜しみながら、再び集まることを誓い合いました。「同窓のつどい」では、金沢工科大学園が推進する寄付金募集にも協力しました。



▲抹茶碗づくりに夢中でした

文化講座「陶芸教室」は平成 29 年 6 月 4 日、金沢市の陶芸工房「北陶」で開かれ、会員とその家族 9 人が参加し、世界で一つだけの作品づくりに没頭しました。

陶芸教室は 7 年ぶりの開催で、北陶の飯田雪峰先生と北村鶴代先生が指導を担当。最初に飯田先生が「重さや高台の高さを手で感じるなど人間の五感に訴えかけるのが茶碗

## 個性あふれた抹茶碗が完成

陶芸教室



◀この抹茶碗は、第 17 回こぶし祭の「くつろぎ処保二亭」で使用されました

です。お茶を飲む人のことを想像しながら、自由な感性で作陶を楽しんでください」と挨拶しました。その後、早速制作がスタートし、飯田先生が実演を交えて説明。大人は抹茶碗、子供は皿に挑戦しました。

参加者たちはまず、土をしっかりと練り、台の上で土の中央にくぼみを作り、土を持ち上げるようにして、少しずつ抹茶碗の形に仕上げていきました。「皆さんつくるのがとても速

いですね」という飯田先生に対し、「ものづくりの学校だからかも」とある参加者が返答すると、しばしその場が和みました。

先生方の力も借りながら、1 時間もすると素人とは思えない出来栄の抹茶碗が完成し、参加者は満足げな表情を浮かべていました。最後に飯田先生が「同じ土を使っている、抹茶碗にはそれぞれの個性が出ています。作品には皆さんの人生が凝縮しているのです」と話すと、参加者は自分の抹茶碗をしげしげと見つめていました。



## ☑ 高専同窓会



▲金沢歴史探訪に参加した皆さん



▲初めて訪れた場所も少なくありませんでした

## 魅力的な金沢を巡る

### 第13回金沢歴史探訪

第13回金沢歴史探訪が平成29年6月17日、金沢市の本多の森公園周辺で開かれ、会員ら14人が参加し、藩政期の面影が残る街並みを巡りながら、歴史都市・金沢の新たな魅力に迫りました。

金沢歴史探訪の案内役は、観光ボランティアガイド「まいどさん」として長年活躍している本野政信さん（保二会・38年）が務めました。一行は、金沢市立中村記念美術館と鈴木大拙館を結ぶ“緑の小径”を進み、途中、加賀百万石の筆頭家老・本多家が作庭した松風閣庭園を見学し、明と暗のコントラストの美しさに目を奪われました。続いて、石川県立工業高校を訪れ、

創立者の納富介次郎が日本の工業工芸の基礎教育に多大な功績を残したことを学び、日蓮宗の古刹・本行寺では、この寺を創建した囲碁の初代本因坊算砂の石碑や金沢市の保存樹林を見て回りました。

この後、江戸初期、坂の上に住んでいた加賀藩の重臣・篠原出羽守が、娘を本庄主馬へ嫁がせたことからその名がついた「嫁坂」を上り、北陸学院ウイン館へ。同館は1888（明治21）年に建てられた金沢に現存する最古の異人館で、バルコニー、ベイウィンドウなどの意匠が施されたアメリカの典型的な建物です。最後に、参加者は加賀八家として1万7000石の石高を誇った奥村家（宗家）屋敷跡の土堀にも金沢の歴史の奥深さを感じていました。

## ☑ ながつき会

土木工学科・環境土木工学科

## 新幹線橋脚工事に感嘆

### 平成29年度研修会

平成29年度研修会が平成29年8月5日、会員21人が参加して行われ、北陸新幹線の延伸工事が行われている川北橋高架橋と、拡張工事が進んでいる金沢市新廃棄物埋立場の現場を見学しました。

一行はまず、鉄道・運輸機構小松鉄道建設所の鈴木隆所長から説明を受けた後、白山市から川北町にかけた2.8kmを工区とする川北橋高架橋周辺を訪れ、RC橋脚やRC連結橋脚、ラーメン高架橋の工事の進捗状況を見て回りました。また、北陸新幹線の安全安心な走行を確保するため、東日本大震災以降、杭や基礎の強度基準が厳しくなっている取り組みを確認。参加者は、いずれは新幹

線が走る約10mのラーメン高架橋の上にも登り、貴重な経験を喜びました。

続いて、次期埋立場の建設が進む金沢市の戸室新保埋立場へ。金沢市環境局環境政策課埋立場建設事務所の木谷哲所長が工事の概要について解説しました。3期目となる次期埋立場は、耐用年数が約50年で、ごみに触れた雨水を公共下水道で処理し、緩衝緑地を確保するなど周辺環境に配慮したものととなります。参加者は広大な敷地を整備する工事現場を目の当たりにし、暮らしに欠かせない施設が完成



▲研修会に参加した皆さん



▲次期埋立場の広さに驚きました

する姿を思い浮かべました。この埋立場は、平成32年の供用開始を目指しています。

## 経工会

経営工学科・経営情報工学科・情報マネジメント学科・情報経営学科・経営情報学科

### 自分の役割を果たす

#### 第32回異業種交流会

第32回異業種交流会は平成29年8月20日、金沢市のANAホリデイ・イン金沢スカイで13人が出席して開かれ、寺賀俊明さん(45年)が「我が人生を振り返って」と題して講演しました。

寺賀さんは、主に汎用コンピュータの営業販売に40年間携わり、パソコ

ン黎明期にはコンピュータ周辺機器などの開発にも取り組みました。ワープロソフト用のかな漢字辞書をメモリに搭載した製品を販売した時には「大ヒットして会社が急成長した」そうです。

その後、コンピュータ市場の縮小に苦しんだものの、「自分の居場所を見つけ、自分の役目を果たすことができ満足だった」と晴れやかな表情で語りました。

#### 第33回異業種交流会

- 日時 平成30年1月21日(日)  
受付10:00 開始10:30
- 場所 ANAホリデイ・イン金沢スカイ
- 会費 2,000円  
(昼食込み、講演聴講のみは無料)
- 講師 金沢工業大学情報フロンティア学部経営情報学科講師  
平本督太郎氏
- 演題 「SDGsビジネス ～地方創生を活性化させる年間7兆ドルの巨大市場とは?～」
- 申し込み 前日までに経工会ホームページ参加フォームから申し込むか、こぶし会事務局(076-294-6375)までご連絡ください。

## 機扇会

機械工学科・機械システム工学科・物質応用工学科・先端材料工学科・物質システム工学科・ロボティクス学科・航空システム工学科

第50回工大祭に併せた機扇会交流会(石川県同窓会)が平成29年10月21日に行われました。この交流会は、支部組織がない石川県内の機扇会会員の交流を図るため、懐かしい工大祭の期間中に3年前から実施しており、今回で3回目となります。

今年は、金沢工業大学に新設された施設を中心にキャンパスツアーを行いました。ライブラリーセンター内の「工学の曙文庫」のほか、平成29年に完成したばかりの「チャレンジラボ」と

### 母校の新たな施設に驚き

#### 第3回交流会(石川県同窓会)

「新夢考房」を見学した会員たちは、充実した施設に驚き、母校の躍進を喜びました。

ツアー終了後の懇親会では「今後は会社の後輩にも声をかけて参加したい」と話す会員もおり、大いに盛り上がりました。機扇会では、この交流会を来年以降も続けていきたいと考えておりますので、皆さんご参加ください。



▲交流会に参加した皆さん

## 琥睦会

電気工学科・電子工学科・電気電子工学科・情報通信工学科・電子情報通信工学科

### 新会長に荻田幸男氏(電気・44年)

#### 平成29年度総会・記念講演会・懇親会



▲総会などに出席した皆さん

平成29年度総会と記念講演会、懇親会が平成29年8月5日、金沢工業大学21号館で会員や先生ら40人が出席して開かれ、新会長に荻田幸男氏(電気・44年)を選びました。

総会では、荻田新会長が「会員同士の絆が深まるよう、新事業の実施も検討していきたい」と就任挨拶を行いました。総会に先立ってキャンパス見学

会を実施しました。

記念講演会では、小原健司先生が「金沢工大教員としての13年を振り返る」と題して講演し、学生が興味を持つようにユーモアを交えた講義を行ってきたことなどについて話され、会員一同は熱心に耳を傾けました。

小原先生の謝恩を兼ねた懇親会では、研究室で学んだ会員から小原先生に花束と記念品が贈られ、互いに学生時代の思い出や近況を語り合うなど、和やかな会となりました。



こぶし会

保二会 (ほじかい)

北陸電波学校 北陸電波専門学校  
北陸電波高等学校 金沢工業大学附属高等学校

大学同窓会

高専同窓会

学科同窓会

機扇会 (きせんかい)

機械工学科 機械システム工学科  
物質応用工学科 先端材料工学科  
物質システム工学科 ロボティクス学科  
航空システム工学科

琥睦会 (こぼくかい)

電気工学科  
電子工学科  
電気電子工学科  
情報通信工学科  
電子情報通信工学科

経工会 (けいこうかい)

経営工学科  
経営情報工学科  
情報マネジメント学科  
情報経営学科  
経営情報学科

ながつき会

土木工学科  
環境土木工学科

積木会 (つみきかい)

建築学科  
居住環境学科  
建築都市デザイン学科  
建築デザイン学科

扇翔会 (せんしょうかい)

情報処理工学科  
情報工学科  
メディア情報学科

平結会 (へいゆうかい)

人間情報工学科 環境システム工学科 バイオ化学科  
環境化学科 生命情報学科 心理情報学科  
応用バイオ学科 応用化学科

つみきかい  
積木会

建築学科・居住環境学科・建築都市デザイン学科・建築デザイン学科

水野一郎研究室 40周年記念同窓会

平成 29 年 11 月 25 日、26 日に開催され、186 人の卒業生が参加しました。大学内で水野教授の講義が行

われた後、和倉温泉「のと楽」に会場を移して大宴会を開きました。水野教授は「どんな分野に進んでも、夢をあきらめないで持ち続けてほしい」と卒業生にエールを贈りました。



積木会建築研修会

平成 29 年 11 月 19 日に「岐阜県美濃の現代建築を巡る」を開催し、会員とその家族 12 人、在学生 19 人が参加。著名な建築家の設計による“ぎふメディアコスモス”“多治見市モザイクタイルミュージアム”を視察しました。



せんしょうかい  
扇翔会

情報処理工学科・情報工学科・メディア情報学科

在学生と卒業生が活動発表

学園祭ミーティング

学園祭ミーティング(卒業生懇親会)は平成 29 年 10 月 21 日、金沢工業大学の 23 号館で開かれ、卒業生や在学生、教員ら 20 人が出席し、互いの近況を話すなど親睦を深めました。

はじめに、情報工学系の阿部倫之准教授と情報フロンティア系副主任の出原立子教授が、情報工学科とメディア情報学科の現状を説明。この後、

村松俊臣さん(H23 年)が、平成 27 年に起業したアプリ開発会社「Beta Computing (株)」の近況について「社員 1 人を増員できるほど順調に業績が伸びている」と話しました。

また、ロボットプロジェクトに所属していた有本光さん(情報工学科 4 年)が、NHK ロボコン 2014 でベスト 4 に入った思い出や、3D プリンターで

「シャボン玉発生機」を製作したことなどを話しました。さらに、福田崇之さん(H7 年)から、これから金沢工業大学が取り組む AI/IoT/ビッグデータを活用した白山麓キャンパス構想について発表がありました。

最後に、加原智彦会長が「今後も学園祭に合わせて同窓会を行う予定で、来年は 3 年に 1 度の総会も開催します。皆さま方のご参加をお待ちしております」と挨拶し、閉会しました。

へい ゆ う かい  
 平結会

人間情報工学科・環境システム工学科・バイオ化学科・環境化学科・  
 生命情報学科・心理情報学科・応用バイオ学科・応用化学科

## 新規事業の実施を検討

### 第3回総会

第3回総会は平成29年10月21日、金沢工業大学23号館で30人が出席して開かれ、役員人事で中屋真悟会長（H11年）を再任しました。

総会では、中屋会長が「平結会は、平成以降に卒業した学科の卒業生で組織されています。これからも会員同士の絆を大切にしたい同窓会を目指していきますので、皆さんの力を貸してください」と挨拶しました。来賓として殿村和也大学同窓会会長が「こぶし会活動への積極的な参加をお願いします」と呼び掛けました。

続いて松原伸一氏（H11年）を議長に選り、役員人事、平成29年度事業計画案、平成28年度収支報告が承認された後、中屋会長が「現在、平結会の事業は、卒業記念パーティ&入会式と3年に1度の総会だけですが、新たな事業の実施も検討していきたい」と今後の方針を示しました。



▲懇親会に参加した皆さん

この後、金沢市のテルメ金沢に会場を移して懇親会が行われ、家族での参加や懐かしい顔ぶれがそろうなど、終始、笑い声の絶えない会となりました。

## こぶし会の国際交流事業支援



## 技術者の心構え学ぶ 学生が帰国報告会で成果を発表

金沢工業高等専門学校と金沢工業大学が実施する国際交流プログラムに対して、こぶし会では支援を行っています。このプログラムに参加した学生が帰国報告会で成果を発表しました。



平成29年度に支援したのは「ラーニングエクスプレス(インドネシア)」「泰日工業大学サマープログラム(タイ)」「イギリス英語研修(イギリス)」の事業です。参加した学生は帰国後に報告会に臨み、成果を発表しました。

平成29年9月9日から23日までの期間で実施されたラーニングエクスプレスでは、金沢工業大学から12人が参加し、3つの班に分かれて現地の村人が抱えている問題解決に取り組みました。

カリバン村では、日本のポテトチップスに似た「ガルーチップ(原料はウコン)」の増産に知恵を絞りました。学生たちは雨期でもウコンが収穫できるようビニールハウスの建設やウコンを保存するための保管箱、ガルーチップを作る道具の改良を提案しました。

今回の事業に参加した学生たちは、英語力やプレゼンテーション能力の不足を感じながらも「人の役に立つ大切さを知り、技術者としての心構えが明確になった」と話し、人間的な成長を感じさせました。





全国から卒業生が集結

台風にも負けず!

# こぶし祭

毎年恒例となったイベント「こぶし祭」。17回目を迎えた今年は、10月14・15・21・22日の4日間開催されました。22日は台風の接近に伴い、開催時間が半日に短縮されましたが、全国の自慢の特産品を取りそろえた「こぶし屋」をはじめ、豪華賞品が当たる大抽選会など、多彩なイベントにたくさんの来場者が訪れました。



## こぶし屋

全国から集まった  
珍しい品々が人気!



こぶし屋には、全国47都道府県のこぶし会支部から「うまいもの」が届きました。栃木県の「宇都宮餃子」、北海道の「ジングスカン」、秋田県の「いぶりがっこ」などが並び、来場者たちが品物を次々と購入しました。リンゴや大根、サツマイモ、シイタケなどの生鮮野菜も人気を集め、次々と完売していきました。

名産品を求めてこぶし屋に人だかりができました







● 全国の支部の方々が駆け付けました！ ●

## こぶし庵

### まるやかコーヒーで 安らぎのひとときを

こぶし庵では、こぶし会  
会員が石川県内などで  
汲んできた名水で入れた  
コーヒーを無料でサービ  
スしました。何と言っ  
ても名水を使っているだけに、コーヒーの味わ  
いも格別なよう。家族連れやカップル、友  
人同士がコーヒーを片手に席に座って話し  
込む姿が見られました。



ほっとするおいしい  
コーヒーが評判でした

## くつろぎ処 保二亭 こぶし会会員の茶碗を用い 抹茶と和菓子でおもてなし

保二会の「くつろぎ処 保二亭」が4年ぶりに復活し、  
裏千家助教を務める山本茂さん（保二会・47年）の  
ご子息・翔さんが協力しました。来場者は、おいし  
い和菓子とともに、こぶし会  
員がつくった  
茶碗で抹茶  
をいただき、  
ゆったりとし  
た時間を過  
しました。



一期一会のおもてな  
しが喜ばれました

## 手作り工作コーナー

### ものづくりって楽しい！ 親子で仲良く創作

手作り工作コーナーでは、クリ  
スマスリース、コマ、プラトンボが作れるとあって、親子  
連れを中心に人気を集めました。中でもクリスマスリー  
ス作りは、色の組み合わせを工夫することによってオリ  
ジナルの作品を親子で仕上げていきました。



こぶし会会員がやさしく教えました

## 金沢高専 ホームカミングデー

### 卒業生が久しぶりに 母校を訪れて懐かしむ

高専祭に併せて金沢高専では、  
卒業生に学校を見学してもらう  
「ホームカミングデー」を開催しま  
した。山田陽子さんと大倉亜由  
美さん（ともに国際コミュニケー  
ション情報学科・H23年）は「来  
年から国際高専に変わるので、  
金沢高専の校名を写真に収めよ  
うと思って来ました」と久しぶ  
りの母校に目を細めていました。



学校に戻ってくると学生時代の  
記憶がよみがえります



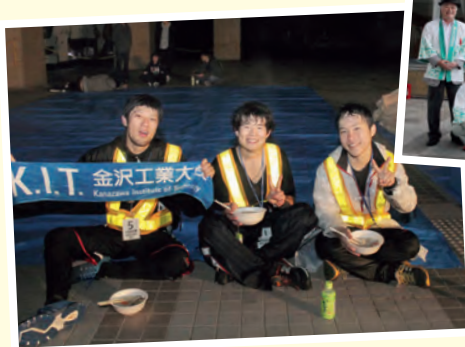


- 1 札幌支部 2 青森支部 3 岩手支部 4 宮城支部 5 秋田支部 6 福島支部 7 栃木支部 8 新潟支部 9 福井支部 10 山梨支部 11 静岡支部  
 12 愛知支部 13 三重支部 14 滋賀支部 15 奈良支部 16 鳥取支部 17 島根支部 18 岡山支部 19 香川支部 20 愛媛支部 21 高知支部 22 沖縄支部

## 100Km 歩行応援隊

### 大学同窓会が実施 台風負けじと歩いた学生をめった汁で激励

10月22日早朝、工大祭恒例の100Km歩行に「100Km歩行応援隊」が駆けつけました。今回は台風の影響によって「アクロス高松」がゴールとなり、参加した学生82人中72人が到着。ずぶ濡れの学生たちは、用意しためった汁と栄養ドリンクで体を癒し、ほっとした表情を浮かべていました。



応援の差し入れに笑顔がこぼれました

## ステージ企画

### チア&寄席で大いに盛り上がる

こぶし祭を盛り上げたのがステージ企画です。柳家喬之助師匠が古典落語『宮戸川』、マギー司郎さんが軽妙なトークとおなじみのナンセンスマジックで、会場を大いに沸かせました。また、地域で踊りを学ぶ幼稚園から小学校6年生までの50人がチアリーディングを披露しました。



かわいいダンスと円熟の芸が観衆を喜ばせました

## こぶし祭大抽選会 2賞当選者

今回も豪華賞品のオンパレード! 幸運を引き寄せて当選された皆さん、本当におめでとうございます。



子供たちの抽選会も開催

10/14(土)



50インチ  
4Kテレビ

手林 鎮伸さん  
高専・機械・H11年

10/15(日)



「和倉温泉加賀屋ご家族4名様」または「US」ペア2名様ご招待

梅木 基成さん  
高専・機械・4年生

10/21(土)



電動アシスト  
自転車

垣内 美咲さん  
地域の方

10/22(日)



タブレット型  
パソコン

前田 宜之さん  
大学・経営・H15年

## お楽しみ抽選会当選者発表

### クイズの答え ▶ 夢考房

全国の会員から応募いただいた「お楽しみ抽選会」の主な当選者は次の皆さんです。残りの当選者の方々はホームページ上で発表しています。

### 2賞 ▶ iPad mini 4

遠藤 貴さん(大学・機械システム・H7年)

### 3賞 ▶ Nintendo Switch

橋本 照久さん(大学・情報・60年)

### 1賞 ▶ 衣類スチーマー

松本 和彦さん(大学・電気・H14年)

## ■ ごあいさつ

こぶし祭実行委員長

河村 宣俊さん  
(高専・電気・54年)



来場者の方々を元気にお迎えした今年のごぶし祭も無事に終えることができました。これもひとえに、実行委員、北海道から沖縄までの各支部のご協力のおかげと感謝しております。皆さん、ありがとうございました。



PLUS  
学園

## 新しい技術と価値の創造へ

### Challenge Lab (チャレンジラボ) がオープン

次代に必要な技術の創出と新しい価値の創造に取り組むための拠点である「Challenge Lab (新26号館)」の竣工式が平成29年7月3日、学園関係者らが出席して行われ、未来のイノベーションを生み出す施設の誕生を喜びました。

竣工式では、大澤敏学長が「Challenge

Lab を新たなイノベーションを生み出す場所として活用していただきたい」と挨拶し、泉屋利郎理事長、大澤学長、ルイス・パークスデール校長らがテープカットしました。

Challenge Lab は、「Co-creation Studio」「C∞ (インフィニティ) Lounge」「Creative Design Hub」の3つのスペースに分かれます。

Co-creation Studio は、分野を超えた共創教育を実践する拠点です。専門分野を超えたチームが問題解決を実践し、イノベーションに挑戦する研究を行います。C∞ Lounge には、

分野を超えた人と知が集まります。学問の本質を追究し、議論の中から新しい知が生まれていきます。Creative Design Hub は、IoT (モノのインターネット) や AI (人工知能)、データサイエンスといった社会の基盤となる新たな技術を学ぶ場です。

Challenge Lab では平成29年9月30日、アイザック・ニュートンの著書「プリンキピア」について解説する科学講座を開催しました。今後も随時、ライブラリーセンターの貴重本を活用した科学講座を開催する予定です。



休憩スペースとしても使われる C∞ Lounge



テープカットする学園関係者

PLUS  
学園

## ALL KIT-ICT 体制づくりを

### 創立60周年記念式典

金沢工科大学園の創立60周年記念式典は平成29年6月1日、金沢工業大学多目的ホールで学園役員や教職員、学生代表ら720人が出席して開かれ、これからの学園の飛躍を誓い合いました。

記念式典では冒頭、泉屋利郎理事長が平成30年4月に国際高専 (ICT) が誕生するのを機に「ALL KIT-ICT 体制」の構築を呼び掛けました。さらに「学園創設者である泉屋利吉翁が貫いた「国を思う心」と『わが学園を愛する心』

を継承して前進していきます。また、本学園が追い求めてきた『高邁な人間形成』教育が、ますます充実していくことを願います」と式辞を述べられました。

表彰では、多大な功績を残して退職した元教授の浦憲親、西田進、中谷政夫、木田外明、久保猛志、島田洋一、青木克比古の7氏に大澤敏学長から名誉教授称号記が授与されました。また、

工学アカデミア計画資金に多額な寄付を行った企業と個人に感謝状を贈呈した後、永年勤続者を表彰しました。最後に出席者一同で学園歌を斉唱し、散会しました。



学園の発展を目指すことを確認した記念式典



## 全日本学生室内コンテストで2連覇

### 小型無人飛行機プロジェクト

小型無人飛行機プロジェクトは平成29年9月1日から3日間、東京都大田区大森スポーツセンターで開催された第13回全日本学生室内飛行ロボットコンテストに参加し、自動操縦部門に出場した「KFE(カナザワ・フライング・イーグル)」号が2連覇を果たしました。

初日に機体審査を通過。2日目は各部門の予選が行われ、KFE号は12チー

ム中5位で予選を通過しました。最終日の決勝でKFE号は、自動着陸のミッションだけは断念したものの、制限時間ぎりぎりの3分46秒で帰還しました。

チームリーダーの市邊星香さん(航空システム工学科2年)は、「みんなの頑張りで優勝できてうれしいです。来年は全ミッションをクリアして優勝したいと



プロジェクトメンバーの皆さん

思います」と3連覇に意欲を見せていました。

## 丸山菜摘さんが最優秀賞

### 第13回関数グラフアート全国コンテスト

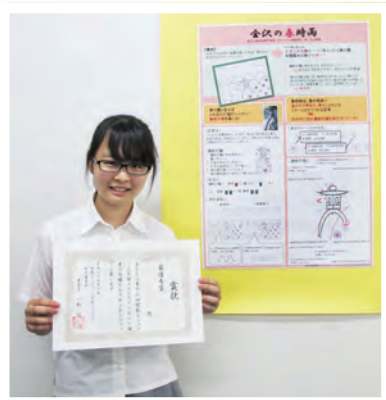
第13回関数グラフアート全国コンテストが平成29年8月26日に東京理科大学で開かれ、グローバル情報学科3年の丸山菜摘さんが最優秀賞を受賞しました。

関数グラフアートとは、円や直線、放物線といった関数を組み合わせて絵を描くアート・パフォーマンスです。コンテストでは、関数の使い方のうまさ(数

学力)と美しさ(芸術性)を競いました。

丸山さんは、金沢市の名所である兼六園のシンボル・徽軫灯籠(ことじょうろう)が雨に濡れる様子を、三角関数や絶対値関数などの関数で表現し、「緻密な計算と雨の表現方法、灯籠の立体感を出すための工夫が素晴らしい」と評価されました。

コンテストでは昨年も金沢高専生が



最優秀賞に輝いた丸山さん

最優秀賞を受賞しており、2年連続の快挙となりました。

## 2大学の修士号取得が可能に

### KITとRITが協定締結

金沢工業大学(KIT)の大学院工学研究科情報工学専攻博士前期課程と、ロチェスター工科大学(RIT)の大学院博士前期課程コンピュータ工学専攻間で「デュアルディグリーマスターズプログラム」を実施するための協力協定書署名式が平成29年6月9日、ロチェスター工科大学で行われ、大澤敏学長とロチェスター工科大学のジェレミー・ヘフナー

学事担当上級副学長が協定書に署名しました。

RITは雑誌『U.S.News & World Report』の2016年版「America's Best Graduate Schools」において、工学分野の修士課程で全米トップ大学の一つと評価されています。

協力協定の締結によって、KITの大学院工学研究科情報工学専攻博士前期



協定書に署名する大澤学長(右)とジェレミー副学長

課程の学生がKITとRITの両大学院で学んで修了要件を満たすことで、最長2年間で両大学の修士号取得が可能となります。



## 5月

- **鳥取支部**  
27日(土) 18:00～  
米子ワシントンホテルプラザ／8人
- **大分支部**  
27日(土) 19:00～  
くじら1号／7人

## 6月

- **札幌支部**  
3日(土) 18:30～  
札幌ジャスマックプラザ／28人



- **岩手支部**  
17日(土) 19:00～  
うし亭／13人

東日本大震災の津波被害地域で生活する会員が経済的な理由で出席できないケースがあることから、津波被害地域での支部総会開催を検討することになりました。

- **静岡支部(浜松)**  
23日(金) 19:00～  
ローランシャンツウ／14人

- **広島支部**  
23日(金) 19:00～  
広島国際ホテル2階 芸州／10人

- **徳島支部**  
23日(金) 19:00～  
居酒屋 とくざん／12人

- **佐賀支部**  
23日(金) 19:30～  
いけす海幸／6人

- **福島支部**  
24日(土) 18:30～  
料理旅館「田事」／15人

- **栃木支部**  
24日(土) 18:30～  
海蔵JR駅東口店／11人

- **新潟支部**  
24日(土) 18:00～  
ホテルニューオータニ長岡／18人

総会では、新しく卒業した会員のための情報共有の場を設けるべきではないかという提案がありました。

- **愛知支部(豊橋)**  
24日(土) 19:00～  
ポレロ吾妻家／18人

『会報こぶし』でこぶし会全体の活動をアピールするだけでなく、各支部の活動をもっと取り上げてほしいという声がありました。

- **奈良支部**  
24日(土) 19:00～  
奈良ロイヤルホテル／11人

- **島根支部**  
24日(土) 19:00～  
茜どき 松江駅前店／11人

- **岡山支部**  
24日(土) 19:00～  
サン・ピーチOKAYAMA／19人

- **山口支部**  
24日(土) 19:00～  
新山口ターミナルホテル／8人

- **香川支部**  
24日(土) 19:00～  
神童ろ／9人



- **長崎支部**  
24日(土) 18:30～  
味ごよみ ながせ／4人

- **熊本支部**  
25日(日) 18:00～  
「和静」旬菜と郷土の店／6人

## 7月

- **宮城支部**  
1日(土) 18:00～  
郷土料理 心平／14人

- **和歌山支部**  
1日(土) 18:00～  
百楽 和歌山シノワーズ／14人

- **愛媛支部**  
1日(土) 18:00～  
ホテルサンルート松山／20人

- **宮崎支部**  
1日(土) 18:30～  
祇園たちばな／5人

- **関東こぶし会(埼玉・千葉・東京・神奈川の4支部)**  
7日(金) 18:00～  
金沢工業大学東京事務所／72人

- **道東支部**  
8日(土) 18:00～  
十勝ダイニング ふる屋／16人

- **茨城支部**  
8日(土) 18:00～  
五鐵 夢鏡庵／14人

今年は平成に卒業した会員が2人を含め、参加者が倍増しました。久しぶりに会う仲間も多く、大いに盛り上がりました。

- **福井支部**  
8日(土) 17:00～  
講演会=小浜市まちの駅・旭座  
総会=懇親会=若杉 末広亭／15人

福井支部は若手の参加者が増えています。今後は、それぞれの会員が知り合いの卒業生を一人でも多く誘うことを申し合わせました。

- **長野支部**  
8日(土) 19:00～  
松本東急REIホテル／13人

- **岐阜支部(岐阜)**  
8日(土) 19:00～  
季づな 宇を徳／26人

昭和生まれの会員よりも平成生まれの会員が増え、支部の若返りが進んでいます。学園からの出席者によって参加者が多くなることもあり、案内はがきに出席者の名前を書ければという意見もありました。

- **滋賀支部**  
8日(土) 18:30～  
ホテルポストプラザ草津びわ湖／9人

- **高知支部**  
8日(土) 18:30～  
浪漫亭／12人

- **三重支部**  
9日(日) 11:30～  
大阪フレックスホテル／6人

総会で役員改選が行われ、新支部長に渡邊味さんを選びました。懇親会では、こぶし会活動に積極的に参加していこうという気運が高まっていました。





平成 29 年度こぶし会支部総会が全国各地で開催されました。

- **山梨支部**  
21日(金) 18:30～  
甲府富士屋ホテル／13人
- **青森支部**  
22日(土) 18:00～  
青森ワシントンホテル／28人
- **岐阜支部(高山)**  
22日(土) 18:30～  
寿楽久／14人
- **京都支部(京都)**  
22日(土) 18:30～  
がんこ 高瀬川二条苑／20人
- **静岡支部(静岡)**  
28日(金) 19:30～  
酒屋屋「大鉢小鉢」呉服町店／21人
- **愛知支部(名古屋)**  
29日(土) 19:30～  
名古屋 百楽／19人
- **京都支部(舞鶴)**  
29日(土) 18:00～  
ホテルマーレたかた／7人



## 8月

- **京都支部(福知山)**  
5日(土) 18:30～  
レストラン和楽  
(福知山アークホテル内)／12人  
「福知山市周辺の会員が集まる機会を設けてほしい」との声を受けて今年初めて開催しました。集いは大いに盛り上がり、来年の開催を楽しみにしている会員が多く見られました。



- **福岡支部**  
11日(金) 18:00～  
北前そば高田屋 博多筑紫口店／8人
- **秋田支部**  
25日(金) 18:30～  
魚民 秋田西口駅前店／13人

## 9月

- **高岡支部**  
3日(日) 講演会 17:00～  
支部総会 18:40～  
ホテルニューオータニ高岡／11人
- **富山支部**  
30日(土) 18:30～  
富山地铁ホテル11Fアルシェフ／15人



## 11月

- **山形支部**  
11日(土) 19:00～  
居酒屋道場 吾歩／9人
- **大阪・兵庫支部**  
11日(土) 17:30～  
桜の藩 尼崎駅前アミダ店／19人

鹿児島支部は都合により開催しませんでした。

### お知らせ

## 沖縄支部総会

平成30年1月27日(土)  
19:00～  
サザンプラザ海邦  
沖縄県那覇市旭町7



## 近畿地区支部長会議

### はがきにQRコードを

平成29年度近畿地区支部長会議が6月24日、奈良県奈良市の奈良ロイヤルホテルで開かれ、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の支部長ら14人が出席しました。会議では各支部が活動を報告し、大阪支部は「ウェブに誘導したいので、はがきにQRコードを印刷してほしい」、奈良支部は「全国一斉ボウリング大会で今後は家族連れに対応したい」といった意見が聞かれました。また、平成30年9月に近畿地区として「合同同窓の集い」を開催したいという声もありました。

## 東北・北海道地区支部長会議

### メールでの案内を検討

平成29年度東北・北海道地区支部長会議が7月23日、青森県青森市の青森ワシントンホテルで開かれ、道東、札幌、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島支部代表者ら23人が出席しました。会議では、札幌支部が「今後ははがきだけでなくメールで支部総会の案内を送ることも検討している」、秋田支部が「近くの会員には訪問して支部総会への参加を呼び掛けている」と報告しました。案内はがきに支部長のコメントを入れる支部が増え、地道な活動を続けていくことを互いに確認しました。

## 東海地区支部長会議

### ブロックに分けて同窓会実施

平成29年度東海地区支部長会議が9月16日に静岡県静岡市の静岡駅前会議室LINKで開かれ、岐阜、静岡、愛知、三重の支部代表者ら13人が出席し、支部ごとに活動状況を報告しました。三重支部は「会員が参加しやすいよう、三重県を3ブロックに分けて地区別同窓会を開きたい」、岐阜支部は「愛知支部と合同でゴルフコンペを開催し、きっかけづくりに取り組んでいる」と話しました。出席者は、各支部が独自のアイデアで活動することが活性化につながるという認識で一致しました。



### 新支部長紹介

新しく就任された支部長をご紹介します。今後の活躍が期待されます。

#### 三重支部

渡邊 味さん(大学・機械・54年)



# 新 ふふさと自慢

## 三重県



伊勢若松のアナゴは肉厚で脂がのっています

### ふっくらした和の食材と世界屈指のサーキット

#### カロリー低く ダイエットにも

アナゴは、寿司や天ぷらなど和食には欠かせない食材と言えます。実は、三重県では江戸時代からアナゴ漁が盛んで、知る人ぞ知るアナゴの名産地なのです。

三重県内では鈴鹿市、伊勢市、鳥羽市でアナゴが水揚げされます。その中でも鈴鹿市の伊勢若松周辺で水揚げされたアナゴは「伊勢若松のアナゴ」と呼ばれ、おいしいアナゴの代名詞となっています。

伊勢若松のアナゴがおいしいのは、①小型底引き網漁よりもアナゴを傷つけない「かご漁」を採用している②濃尾平野に流れる木曾川・揖斐川・長良川の木曾三川の河口域に近くてえさが豊富③漁業者の資源管理に対する意識が高いといった理由が挙げられます。

アナゴは他の魚と比べて栄養価が高く、ビタミンやカルシウム、亜鉛などがバランスよく摂取できます。その上、カロリーが低いのでダイエット志向の方にもおすすめです。最近では、漁獲量が減ってきているので心配していますが、三重県を訪れた際には伊勢若松のアナゴをご賞味ください。

#### モータースポーツの聖地

F1日本グランプリや鈴鹿8時間耐久ロードレースといったビッグレースが開催される国際レーシングコースが「鈴鹿サーキット」です。金沢工科大学「夢考房」のソーラーカープロジェクトもこのサーキットを走っています。



名だたるレーサーに愛されています © SUZUKACIRCUIT

このサーキットを造るうと発案したのは、本田技研工業株式会社創業者の本田宗一郎氏です。1950年代後半から、バイク、自動車の性能を向上するには本格的なサーキットが日本にも必要であると考え、鈴鹿サーキットの建設を推し進めました。建設の際、本田氏は「日本にとつて米は大事だから」田んぼを潰してはいけない」と指示しました。これにより田んぼを避けて荒れ果てた山林をならし、起伏に富んだ地形を生かしたことで、世界でも特異な形状をしたサーキットが完成したのです。

渡邊 味 (大学・機械・54年)

- 活動内容…三重支部総会、全国一斉ボウリング大会
- 所属会員…1,274人



半年から1年間ほど漬込みます 写真提供：(公社)びわこビジネスマンズビューロー

### 鮎を発酵させた郷土料理と築城に20年かけた国宝の城

#### 美容や健康効果 にも期待

滋賀県の郷土料理として知られているのが「鮎寿司」です。その強烈なおいが有名になっていますが、実はおいしくて身体にもいい発酵食品なのです。

鮎寿司は、タイの北部から中国雲南省にかけての地域に起源を持つ「熟れ寿司」の一種で、約1500年前に大陸から日本に伝わったとされ、現在の寿司の原形とも言われています。作り方は、琵琶湖の固有種であるニゴロブナを塩漬けにしたのち、炊いたご飯を重ねて漬込み、乳酸発酵させます。

本来の味を楽しみたいなら薄くスライスしてそのまま食べるのがおすすめです。初めて食べる方やおいが気になる方はお茶漬けを試してみてください。酸味やにおいが和らぐので食べやすくなります。

鮎寿司は乳酸菌が多く含まれており、腸内の善玉菌を増やしてくれるので美容効果が期待できます。また、栄養価が高く、古くは体調が優れない時に薬代わりとしても食べられました。くさいのではという先入観にとらわれることなく、ぜひ一度、味わってみてください。

#### 外観にこだわった 美しさ

日本には天守が国宝に指定されている城が5つあるのをご存じでしょうか。姫路城、松本城、犬山城、松江城。そして、滋賀県が誇る彦根城もその一つです。

彦根城は、徳川家康の命を受け、井伊直継と直孝が約20年の歳月をかけて築城し、元和8年(1622)に完成しました。

国宝の天守は、3階建て3重の屋根で構成されています。屋根には「切妻破風」「入母屋破風」「唐破風」といった多様な装飾を施し、2階と3階には「花頭窓」、3階には高欄付きの「廻縁」を巡らせるなど外観に重きを置いています。



1966(平成8)年に大改修を終えています 写真提供：(公社)びわこビジネスマンズビューロー

高橋 賢司 (大学・建築・H元年)

- 活動内容…滋賀支部総会
- 所属会員…1,713人



# こぶし会会員のご協力に深く感謝

## 大学間競争は一層熾烈に

新年明けましておめでとうございます。輝かしい初春を迎え、こぶし会会員の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げますとともに、かねてより本学園に賜りましたご支援とご協力に対しまして心から御礼申し上げます。

本学園は既に創立 60 周年を経過し、本学園を巣立った卒業生は、大学：6万3千人、高専：6千人、保二会：2千人を数え、学園同窓会であるこぶし会は合わせて7万余人の会員を擁するに至っています。国内外において縦横無尽に活躍されている卒業生各位のおかげをもちまして、北陸地方のみならず、全国的に本学園のステータスや知名度が向上いたしました。しかしながら、2020年問題に象徴されるように、大学への就学年齢層である18歳人口の急減期を目前に控え、現在、国公立780校を数える大学間競争は一層熾烈さを増してきております。

## 卒業生を加えた『四位一体』で

このような環境下において、これからも「社会から信頼され、必要とされる学園」、「学生にとって魅力ある学園」であり続けるためには、学園を構成する「学生・理事・教職員」に「卒業生」を加え、三位一体から『四位一体』となった教育・研究・社会貢献の一層の

充実・発展が不可欠であると考えます。本学園が更なる発展に向けて構想する「工学アカデミア計画」の中でも、「夢考房プロジェクト事業」は多くの方々からの長年にわたる寄付に支えられ、我が国有数の正課外教育として突出した成果を挙げてきております。

## 支部長からの全面的な賛同

『会報こぶし』60号においてすでにご案内いたしましたように、「工学アカデミア計画」の一環として学園独自の給付型奨学金制度を支援する「特別奨学事業」への寄付金募集を開始するため、平成29年6月に私を委員長とする「特別奨学事業寄付金募集委員会」が発足いたしました。こぶし会の役員の皆様を外部委員としてお迎えすることによって募集活動に対する活発な意見交換が行われ、綿密な意思疎通が図られています。

こぶし会のご協力により、委員長である私や本学園泉屋利郎理事長にあっては、平成29年5月に開催された「こぶし会九州・沖縄地区支部長会議」を皮切りに、9月の「こぶし会東海地区支部長会議」に至るまで、全国6カ所で開催された支部長会議に出席させていただき、大学や高専の現況や将来構想をご説明するとともに、「工学アカデミア計画」への積極的なご支援・ご協力をお願いいたしました。ご参集の支部長の



石川 憲一

金沢工業大学名誉学長  
特別奨学事業寄付金募集委員会 委員長

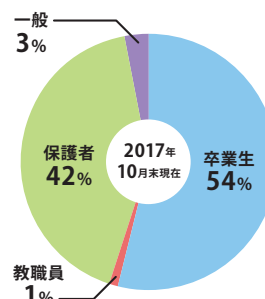
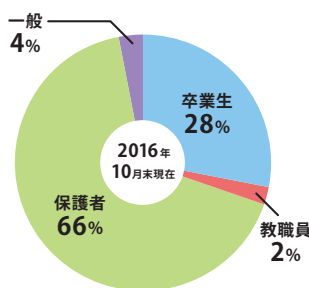
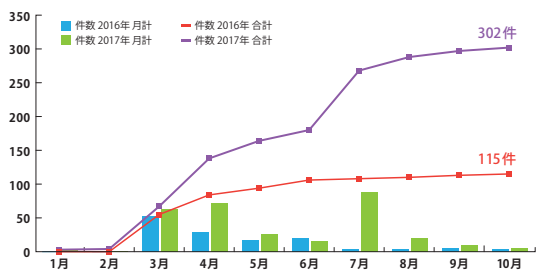
方々には、本計画に対する全面的なご賛同を戴き、平成30年度の活動に向けて大いなる駆動力を期待することができました。

## 寄付金件数が大きく伸長

つきましては、平成29年10月末現在までにいただいたこぶし会会員からの寄付金受入件数を一連のグラフによってご報告申し上げます。昨年に対して今年は大きく寄付金件数を伸ばすことができ、ここに改めまして会員の皆様には深く感謝申し上げます。

前号に引き続き、今号につきましても「工学アカデミア計画」寄付金募集のパンフレットを同封させていただきました。優れた学生諸君への経済的な支援を継続して行っていくためにも、「夢考房プロジェクト事業」並びに「特別奨学事業」の一層の充実・発展に対して、こぶし会会員の皆様には、今後とも宜しくお力添え賜りますようお願い申し上げます。

卒業生からの寄付件数と割合



こぶし会も金沢工科大学園を応援しています。

頭の体操!

解けてそう快!

# クイズの学園 VOL. 13

ストレスの多い現代社会、  
日々の生活に疲れてはいませんか?  
そんな方のために、ちょっとした  
気分転換ができるクイズを用意しました。  
ご家族で楽しんでください。

## KIT検定 (中級編)

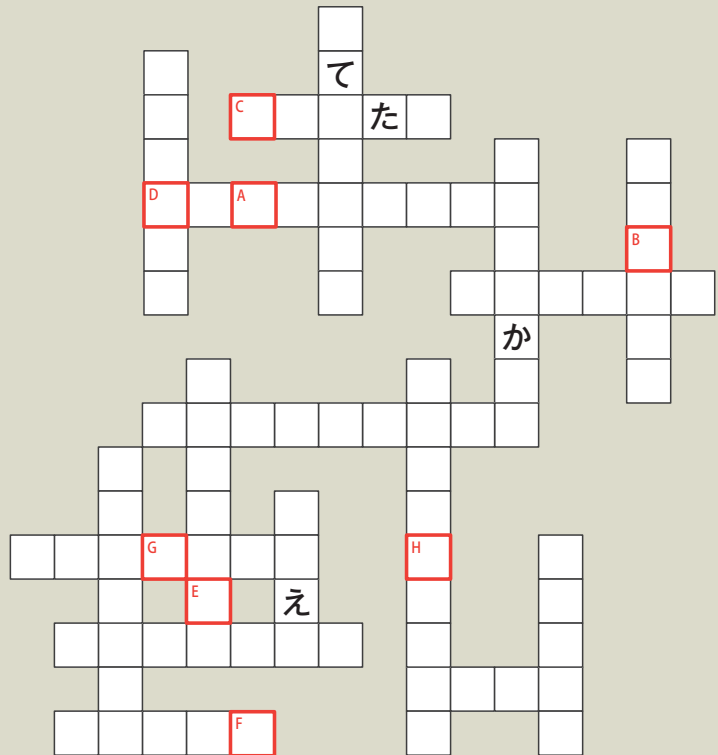
以下の金沢工業大学に関する記述のうち、まず○の部分をはらがなで埋めてください (○は1文字)。それぞれの単語を表のマス目に残さずに当てはめ、A~Hに入る文字を順に並べてできる言葉を答えてください。

### ヒント

スケルトンと呼ばれるパズルです。タテは上から下に、ヨコは左から右に単語を記入します。また、タテとヨコが重なる部分は同じ文字が入ります。

### ■ 学園のあゆみ⑨ H20年

H20/4/1 大学第四次○○○○○○○○○○、バイオ・化学部○○○○○○○○学科、○○○○○○○○科設置、情報○○○○○○○○学部を○○○○○○○○学部名称変更、情報○○○○○○○○学科を情報○○○○○○○○学科に名称変更、○○○○○○○○学科を工学部から情報学部へ変更。大学院工学研究科○○○○○○○○○○工学専攻をバイオ・化学専攻に○○○○○○○○○○。大学院工学研究科博士○○○○○○○○高信頼○○○○○○○○専攻設置。FMT○○○○○○○○、○○○○○○○○環境科学研究所、○○○○○○○○アーカイヴス研究所、○○○○○○○○・経営研究所、○○○○○○○○情報システム研究所開設。



A	B	C	D	E	F	G	H
---	---	---	---	---	---	---	---

※学園のあゆみは金沢工業大学ホームページの教育情報の公表の項目で、「教育情報公表資料」内の「付記 沿革」資料に掲載されています。

## 応募のきまり

### ■ 応募方法

同封しているインフォメーションカードにクイズの答えを記入してお送りください。正解者の中から抽選で10人の方に3,000円分の図書カードをお送りします。なお、当選者の発表は賞品の発送を持って代えさせていただきます。

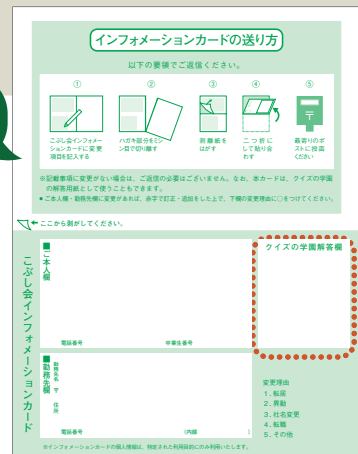
### ■ 締切

平成30年4月2日(月)当日必着

### ■ 発表

正解は平成30年4月13日(金)にこぶし会ホームページ上で発表します。

## インフォメーションカードの記入例







# サマーセッション in 穴水 2017

## 豊かな自然の中で思い出づくり

平成 29 年 7 月 28 日 (金) ~ 30 日 (日)

夏の恒例イベント「サマーセッション in 穴水 2017」が平成 29 年 7 月 28 日から 3 日間、全国から 125 人が参加して穴水湾自然学苑で開かれ、カッター体験やプラネタリウム観賞、アルタイル号での水遊びなどで存分に夏を楽しみました。

親子の絆を深め、夏休みの思い出づくりにぴったりなイベントにすっかり定着したサマーセッション。帰るころには家族ぐるみで仲が良くなる光景はほほえましいものです。3 日間のイベントも盛りだくさんで、定番の研修船「アルタイル号」による湾内クルージングや魚釣り大会は人気があります。

今年はヨット部員の協力で風のみだけで進む帆走をカッターで体験したほか、天文部手づくりの移動式プラネタ

リウム「アクイラプラネタリウム」で星々について学びました。ハーバーでの「水遊び」では、ライフジャケットをつけた子供や大人が海に飛び込むなど、夏だから体験できるイベントの数々に参加者は大満足でした。

平成30年のサマーセッションについては、都合により中止いたします。



### 第21回こぶし会ゴルフ大会

## 塩田有恒さんが初優勝 団体戦は大学土木チームが栄冠

第 21 回こぶし会ゴルフ大会は平成 29 年 9 月 9 日、石川県加賀市の片山津ゴルフ倶楽部で開かれ、会員と学園関係者ら 65 人が参加し、ゴルフを通じて親睦を深めました。

ダブルペリア方式で行われたラウンドは、青空がのぞく絶好のゴルフ日和となりました。参加者はナイスショットを放つと笑顔が広がり、プレーの合間に

はお互いの近況を話すなど、心置きなくプレーを楽しみました。

個人の部では、塩田有恒さん(大学・土木・47 年)が初優勝を飾り、保二会、高専(各学科)、大学(各学科)、学園で競った団体の部は、大学土木チームが制しました。



個人優勝した塩田有恒さん(左)

5 年ほど前から参加するようになりました。初めて優勝できたのは、先輩方と一緒に楽しくラウンドできたおかげです。来年も元気に出場して連覇したいですね。



団体の部で優勝した大学土木チーム  
写真左から 笹村 博史さん(48 年)  
谷内 清貞さん(46 年)  
塩田 有恒さん(47 年)

#### 団体

優勝 大学土木チーム  
第 2 位 高専電気チーム  
第 3 位 高専機械チーム

#### 個人 ネットの部

優勝 塩田 有恒さん(大学・土木・47 年)  
第 2 位 織田 一彦さん(高専・機械・H 元年)  
第 3 位 笹村 博史さん(大学・土木・48 年)





## エントランスを リニューアル!

同窓会活動の拠点が「こぶし会事務局」です。平成 27 年 3 月に新築されてから事務局を訪れたという方もいらっしゃるでしょう。会員の方から事務局の場所や入り口が分かりづらいとの声が聞かれたため、駐車場からこぶし会事務局の入り口へと誘導する看板を取り付けるなど改善に取り組んでいます。

今回、大幅に模様替えをしたのがエントランスです。入り口から見える正面の壁には、中央に「ようこそこぶし会へ」という文字が大きく書かれています。これは、会員の皆さんを温かく出迎いたいという気持ちと、この場所で心地よい時を過ごしていただきたいという思いが込められています。また、こぶし会を構成する「保二会」「金沢工業高等専門学校同窓会」「金沢工業大学同窓会」を紹介するほか、こぶし会のロゴマークを配置しました。

こぶし会では、これまで以上に会員の皆さんに学園に足を運んでいただきたいと考えております。こぶし会事務局は、気軽に立ち寄れる“憩いの場”としての役割を果たしていきますのでご利用ください。



壁面にちりばめられた「こぶし会章」は昭和 59 年から使われています。3つの濃いグリーンは「保二会」「金沢工業高等専門学校同窓会」「金沢工業大学同窓会」を表現しています。



# こぶし会事務局はこちらです

同窓生が集う憩いの場所、  
ぜひお立ち寄りください。



■ 開館時間 / 8:30 ~ 17:30



駐車場からは  
この看板が  
目印です！



## 鎮魂 (敬称略)

下記の方々がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

### <特別会員>

- 平成29年 吉川 明静 (元大学教授)
- 8月 片木 孝至 (元大学教授)
- 10月 川並 高雄 (元大学教授)

### <正会員>

- 五島 達也 (大学・機械・H4)
- 宮下 定男 (高専・電気・S47)
- 相沢 則和 (大学・経営・S48)
- 南 健一 (大学・機械・S58)
- 岩原 克郎 (大学・電気・S48)
- 佐々木 良定 (大学・機械・S56)
- 竹森 正伸 (大学・機械・S50)
- 平成18年 富樫 寿夫 (大学・電気・S48)
- 平成19年 2月 藤崎 昭彦 (大学・土木・S51)

- 平成20年 湯上 哲雄 (保二会・S38)
- 平成22年 2月 寺井 博行 (大学・機械・S45)
- 平成27年 北谷内 重敏 (保二会・S39)
- 1月 田山 孝 (大学・電気・S48)
- 3月 小西 賢蔵 (保二会・S38)
- 10月 狐野 心念 (保二会・S35)
- 平成28年 高田 精一 (保二会・S40)
- 4月 浅原 三津夫 (大学・土木・S52)
- 前口 芳範 (高専・電気・S50)
- 8月 西岡 一夫 (大学・機械・S43)
- 堀込 一弘 (大学・機械・S59)
- 10月 坂井 久 (保二会・S36)
- 鶴谷 秀喜 (大学・機械・S47)

### 平成29年

- 11月 宮島 優太 (大学・ロボテクス・H22)
- 12月 西川 寛 (高専・機械・S44)
- 渡辺 真一 (大学・電気・H6)
- 石澤 公一 (大学・経営・S61)
- 1月 赤池 郁 (大学・建築・H10)
- 2月 中島 知行 (保二会・S41)
- 3月 清水 建治 (大学・土木・S55)
- 藤場 一澄 (大学・機械・S46)
- 南 秀蔵 (保二会・S45)
- 山口 吉晴 (大学・機械・S53)
- 金山 正一 (大学・土木・S48)
- 4月 宮本 樹 (大学・経営・S63)
- 寺谷 聰 (高専・電気・S51)
- 5月 木原 吉晴 (保二会・S48)
- 6月 森 章 (大学・建築・S55)
- 7月 鈴木 則光 (大学・機械・S53)
- 8月 北川 靖夫 (保二会・S38)
- 松崎 亜由子 (大学・建築・H8)
- 9月 北 省一 (大学・土木・S50)
- 澤井 龍平 (大学・機械・S49)
- 松田 伸一 (大学・経営・S51)
- 田口 勝男 (保二会・S38)
- 11月 平口山 格 (保二会・S32)

## 編集後記

- ◆ 今号で特集したように、金沢工大学園は創立60周年を迎えました。昭和32年に北陸電波学校が開校した前年、経済白書に「もはや戦後ではない」の文字が踊ったように、そのころの日本は戦争の傷跡が癒え、少しずつ生活が豊かになってきたと言えます。テレビ創成期に、情報通信技術の重要性をいち早く見抜き、技術者の育成に乗り出した先人たちの慧眼には驚かされます。
- ◆ 学園は今年、大きな変革に取り組みます。それは、金沢工業高等専門学校が「国際高等専門学校」に変わることです。新たなカリキュラムでは、革新的な技術を生み出すグローバルな人材を育成すると聞いています。金沢工業高等専門学校の卒業生の一人として、母校の飛躍を期待してやみません。 / 記 T.N

## INFORMATION 『会報こぶし』へ皆さまの声を

会員同士はもちろん、皆さんと学園をつなぐ唯一の情報誌である『会報こぶし』では、会員の皆さまからのご意見、ご感想、ご要望をお待ちしております。

### ■ 送り先

Eメール (kobushi@kanazawa-it.ac.jp) もしくは同封のインフォメーションカードをご利用ください。※個人情報に関連する内容については掲載できませんのでご了承ください。



## 国際高等専門学校 平成30年度入学生願書受付中!

現在、平成30年4月にスタートする国際高等専門学校の出願を受け付け中です。白山麓キャンパスで学ぶ初めての学生となります。入学試験について詳しく知りたい方は、入試センター（TEL.076-248-9840）までお問い合わせください。

	願書受付期間	試験日	試験場
推薦試験	平成29年12月15日(金)～1月10日(水)	1月15日(月)	金沢・東京
帰国生推薦試験			
一般試験(前期)	平成29年12月15日(金)～1月23日(火)	1月27日(土)	
一般試験(後期)	平成30年1月29日(月)～2月6日(火)	2月10日(土)	

# 全国一斉 ボウリング大会

第23回

## 窪田和浩さんが優勝!

全国34支部35会場で353人が熱投を展開

第23回全国一斉ボウリング大会が平成29年10月28日から11月17日にかけて35会場で開催されました。こぶし会の今年度最後の行事となった全国一斉ボウリング大会。全国34支部から会員224人、家族129人が参加し、熱投を繰り広げました。会員の部では、窪田和浩さんが(金沢会場・高専・電気・H6年)が459点、家族の部では水津信行さん(東京会場)が393点で、それぞれ優勝の栄冠を手に入れました。



### 成績

※スコアは2ゲームのトータルです。

#### ●会員の部

- |           |      |                    |
|-----------|------|--------------------|
| 👑 優勝 459点 | 金沢会場 | 窪田和浩さん(高専・電気・H6年)  |
| 👑 2位 389点 | 静岡会場 | 勝又宏幸さん(大学・建築・H2年)  |
| 👑 3位 386点 | 富山会場 | 西崎 晃さん(大学・電子・54年)  |
| 4位 378点   | 旭川会場 | 久嶋智之さん(大学・電子・H10年) |
| 5位 373点   | 大阪会場 | 岩本佳巳さん(大学・機械・53年)  |

#### ●家族の部

- |           |      |        |
|-----------|------|--------|
| 👑 優勝 393点 | 東京会場 | 水津信行さん |
| 👑 2位 382点 | 札幌会場 | 佐伯光子さん |
| 👑 3位 345点 | 秋田会場 | 菊地星尊さん |
| 4位 334点   | 富山会場 | 西崎貴子さん |
| 5位 325点   | 金沢会場 | 酒本慎二さん |



## こぶし会を日本一の同窓会組織に! 同窓会維持会費納入のご案内

こぶし会では、平成7年度より「同窓会維持会費」制度を導入し、**満40歳以上の会員に年額1,000円を納入していただいております。**71,024人の会員と各支部への活動支援、年2回の『会報こぶし』の発行など、同窓会活動の発展を図るために、ご理解とご協力をお願いします。対象となっている未納入の方には、払込取扱票を同封しています。

■会費の払込方法 郵便払込(3年分一括払い3,000円)  
お近くの郵便局から同封の払込取扱票を利用して払い込んでください。住所等の訂正がございましたらインフォメーションカードでご返送ください。

### 対象者

- 保二会全会員
- 高専同窓会(平成30年3月末日で40歳以上の会員)
- 大学同窓会(平成30年3月末日で40歳以上の会員)

\*会費の納入は80歳までとさせていただきます。  
\*平成26年度に3年分の同窓会維持会費の払い込みをされた方は、平成29年3月に期限が切れております。払込取扱票を同封させていただいた方はその該当者となりますので、払い込みくださいますようお願いいたします。

こぶし会  
事務局

『会報こぶし』は、懐かしい学園の香りをあなたにお届けできる唯一の情報誌です。

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7番1号 金沢工業大学内  
TEL.076-294-6375(直) FAX.076-294-0886  
Eメール.kobushi@kanazawa-it.ac.jp URL.http://www.kobushi.jp



QRコードで  
ホームページを  
チェック!